



全国的に介護人材の確保が厳しい現在、町内の介護事業所では介護職員の人材確保として、外国人介護職の方を積極的に採用しています。

「グループホーム安平の郷」では、現在4名のミャンマー国籍の方が介護職として働いています。今回は、町内で働く外国人介護職員の方にインタビューしました。



## ピューシン・ウーさん (入職 令和4年6月)

**趣味** 旅行 (昨年の休日には大阪へ)

### ミャンマーの良いところ

ピン・ウー・ルウィン (地名) は涼しく、果物が美味しい。  
モヒンガー (米の麺) は美味しくておすすめ。

**今後したいこと** 地域の方にミャンマー料理を作りたい。

Q1 安平町に来たきっかけは？

面接がきっかけで、安平町に来ることを決めました。

Q2 介護職員を目指したきっかけは？

いろんな選択肢がありましたが、先生から日本での介護の仕事は日本語が上手になると言われて決めました。

Q3 安平町に住んでみた感想は？

来たときは寒かったけど、今は寒さにも慣れました。今年はスキーにチャレンジして、来年は安平山に行ってみたいです。

Q4 実際に働いてみた感想は？

利用者さんと一緒にお話しをしていると楽しいです。介護の仕事をしていて大変なところはないです。



町では、介護職の人材確保として以下の事業を実施しています。

### ①介護の仕事応援事業

安平町人材バンクに登録を行い、介護の仕事を探す。

### ②介護職員人材確保等事業補助金交付

安平町に住所を有する方や追分高校生に対して、介護福祉養成専門学校の修学にかかる費用の助成を行う。

※諸条件がありますので、詳しくは下記までお問い合わせください。

**介護の職場は多様な人材がいて魅力的な職場です。皆さんも介護現場で働いてみませんか。**